

平成30年度大河原教育事務所管内
地域連携担当研修会

本校の地域と連携した教育活動

川崎町立川崎中学校

川崎町の特徴

- ・豊かな自然 ・国立公園やスキー場などの観光資源
- ・人口：9,579人（3人に1人は65歳以上）
- ・1次産業就労者 12.5%（全国平均4.2%）



川崎中学校

- ・今年度全校生徒154名
(1年生50名, 2年生47名, 3年生51名 特別支援学級6名)



川崎中学校の地域と連携した教育活動2017

日にち	活動	参加生徒	場所
4月16日	日 神明社お祭り(御神輿担ぎ)	野球部	神明社
4月21日	金 技術科栽培実習①(ガイダンス)	2学年	実習農園
4月29日	金 荒吐ロックフェスティバル	吹奏楽部	湖畔公園
5月18日	金 技術科栽培実習②(水稲・野菜の定植)	2学年	実習農園
8月5日	土 グリーンホーム訪問(ソーラン)	ソーラン有志	グリーンホーム
8月27日	日 ボランティアサマーフェスタ・17	吹奏楽部・有志	川崎町健康福祉センター
9月10日	日 川崎レイクサイドマラソン	全校生徒	川崎BG
9月29日	金 技術科栽培実習③(稲刈り・野菜の収穫)	2学年	実習農園
10月28日	土 JAみやぎ仙南フェアイル・Inかわさき	ソーラン有志・2年技術科有志 JRC委員会	JAみやぎ川崎
11月1日	水 保育実習(3の1)	3の1	川崎こども園
11月2日	木 保育実習(3の2)	3の2	川崎こども園
11月3日	木 町民文化祭	吹奏楽部	山村開発センター
1月28日	日 スノーバスターズ	有志	青根地区



川崎中学校の地域と連携した活動

1 スノーバスターズ



川崎中学校の地域と連携した活動

1 スノーバスターズ



○主催：川崎町社会福祉協議会

○活動内容：一人暮らしの高齢者宅の雪かきボランティア

1 スノーバスターズ

○活動のねらい



- ・活動を通して福祉についての理解を深める。
- ・地域の方々との交流を深め、地域に貢献する心を育む。
- ・共助の意識や、協力・奉仕の心を育む。

1 スノーバスターズ

○スタッフ募集の流れ

1. 12月に、全校生徒に対して活動の趣旨と内容を説明
2. ボランティアスタッフを全校生徒から募集し、名簿を作成する。
3. 社会福祉協議会から要請があった際に、名簿登録生徒の中から参加可能生徒を募る。

1 スノーバスターズ 実際の活動の様子

平成30年1月28日(日)

1 スノーバスターズ ①保健福祉センターに集合

- ・1日の流れの説明を受ける



1 スノーバスターズ ②雪かき作業

- ・公用車で高齢者宅に移動し、雪かきを行った。



1 スノーバスターズ

③昼食

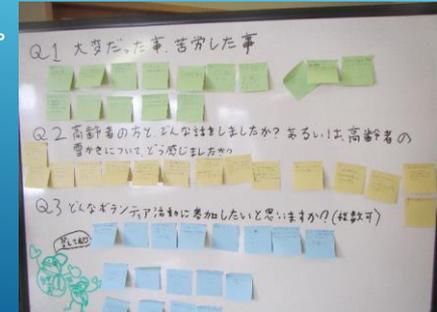
- ・地域の方にカレーをごちそうしていただいた。



1 スノーバスターズ

④1日の振り返りの話し合い

- ・みんなで感想を発表し合った。



1 スノーバスターズ

○活動を通して

- ・ボランティアなので、積極的に活動できた。
- ・地域のために活動した満足感や成就感が得られた。
- ・高齢者の方「子どもたちから元気もらった。」



地域の方も生徒も喜ぶ活動に！

川崎中学校の地域と連携した活動

2 川崎レイクサイドマラソン（2017～）



2 川崎レイクサイドマラソン

○主催：川崎町 川崎町教育委員会 川崎町体育協会

○活動のねらい

- (1) 地域の行事であるマラソン大会参加を通して、自分たちの住む地域の豊かな自然や風景を体感するとともに、心身の保持増進を図る。
- (2) ボランティア活動を通して大会の運営に関わるとともに、主体的に学ぶ意欲と自分の役割を果たす達成感を味わわせる。

○1・2年生はランナーとして参加（夏休み中練習）

○3年生はボランティアとして参加

事前準備 8月21日（夏休み中）
8月31日（総合的な学習の時間）
9月4日（総合的な学習の時間）

2 川崎レイクサイドマラソン

実際の活動の様子 3年生事前準備

平成30年 8月21日（火）9:00～

3年生約30人が参加

実行委員会の方からの説明を聞く



2 川崎レイクサイドマラソン

実際の活動の様子 3年生事前準備

参加選手へ郵送する物（チラシ・ゼッケンなど）を袋詰め



2 川崎レイクサイドマラソン

実際の活動の様子 3年生事前準備

当日配布の資料等を配付



2 川崎レイクサイドマラソン 実際の活動の様子 3年生事前準備 各担当の仕事内容の説明を受ける



表彰・副賞係 20名
選手受付係 7名
靴入れ袋渡し係 4名
タグ回収・タオル渡し係 5名
総合案内・チョコえもん・アンケート係 7名
決番・計時・ゴールテープ係 2名
出発係・ロープ係 2名
スタートプラカード係 7名



2 川崎レイクサイドマラソン 実際の活動の様子 当日



2 川崎レイクサイドマラソン 生徒たちの振り返りの声から

他のランナーの方や、応援などの熱気や迫力、楽しそうにしていることは、十分すぎるほどに伝わった気がします。(2年生 ランナー)

走っているときに、町の人が「頑張れ」などと声をかけてくれて、とてもうれしかったです。(2年生 ランナー)

毎日走っていたおかげで、体力も少しはついたし、本番は友達と楽しみながら走ることができました。これからも運動や体力づくりを頑張っていきたいです。(1年生 ランナー)

2 川崎レイクサイドマラソン 生徒たちの振り返りの声から

私はあまりボランティアをしたことがなかったのですが、すごく貴重な体験になりました。地域のためにボランティアをすることが、こんなにも楽しいものだとは思いませんでした。(3年生 ボランティア)

地域の大会に県外の人々が来ていたので、川崎の良さを分かってくれるといいなと思いました。(3年生 ボランティア)

タオルをわたした時にたくさんの人達から「ありがとう」と言われてとても嬉しかったです。(3年生 ボランティア)

第2回目のレイクサイドマラソンは雨の中で大変でしたが成功したのがとても良かったです。準備は大変でしたがこれも町のためだと思い動きました。(3年生 ボランティア)

2 川崎レイクサイドマラソン

○活動を通して



川崎中学校の地域と連携した活動

3 地域行事でのソーラン演舞



3 地域行事でのソーラン演舞

○川中ソーラン・南中ソーランについて

- ・Newソーランの間奏に独自のふりつけを加えたもの。
- ・カワリンピック（7月）に向けた練習で縦割りでも下級生に伝えられる。
- ・2年次にわらび座（秋田）での宿泊学習で踊りに磨きをかけ、川中祭（10月）でも披露する。
- ・三年生を送る会や対面式でも有志が集い披露する。
- ・有志による活動の中で、南中ソーランは下級生に伝えられる。



3 地域行事でのソーラン演舞

○2017年度の地域行事でのソーラン演舞



8月5日（土）
グリーンホーム（老人ホーム）夏祭り



10月28日（土）
JAみやぎ仙南フェスティバル（農林業祭）

3 地域行事でのソーラン演舞

○本年度 グリーンホーム夏祭りへの参加流れ

社会福祉法人 鶴寿会 から ソーラン依頼

夏休み前までに担当が生徒に有志を募集

夏休み 部活後に練習

8月4日(土)

15:30 学校集合送迎バスで会場へ

17:00~ 祭り参加



3 地域行事でのソーラン演舞

○本年度 グリーンホーム夏祭りにおけるソーラン演舞の様子



・入所者の方の声から
「パワーをもらった」
「若い力はすごい」

川崎中学校の地域と連携した活動

4 技術科栽培実習



栽培実習について



○協力：JAみやぎ仙南川崎

○活動内容：水稲・野菜栽培

4 技術科栽培実習

○活動のねらい



- ・「生物育成に関する技術」を理解するとともに、自分たちの暮らす地域の農業の現状を学習する。
- ・地域の方々の指導や活動の様子から、自分の生き方を考えるきっかけとし、地域社会を担う人材の育成へとつなげる。

4 技術科栽培実習

○活動の流れ

- 4月：栽培学習についてのガイダンス
- 5月：水稲・野菜の定植
- 9月：稲刈り
(5月～9月：定期的に野菜の収穫、畑の草刈り)
- 10月：JAみやぎ仙南フェスティバルかわさきでの販売

4 技術科栽培実習

実際の活動の様子



4 技術科栽培実習



4 技術科栽培実習

○活動を通して

- ・「ここまで本格的に農業をしたことがなかった。」
- ・地域の人達に支えられていることが実感できた。
- ・地域の農業について理解を深めることができた。



地域に興味関心が持てる活動に！

○終わりに

地域と連携した教育活動の展開



地域に貢献できた「満足感」

地域に対する興味関心の高まり

地域から支えられていることを実感

様々な人たちからの声かけによる自己有用感の高まり

地域の人々も「中学生から元気をもらった」

○終わりに

今後の課題

- ・窓口の一本化・担当間の連携
- ・それぞれの活動、その他の教育活動との相互の関連付け
例：ソーラン有志の活動と生徒会活動
農作物のパッケージを美術の授業で制作する
- ・多忙化と担当教員の移動
- ・活動に対する長期的な評価